

1. 科目名(単位数)	人体の構造と機能及び疾病 (2単位)	3. 科目番号	GELA1112 GELA1333 GELA1312
2. 授業担当教員	朴 鍾熾		
4. 授業形態	講義、ディスカッション、ならびに意見発表	5. 開講学期	春期 / 秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>この講義は、総合社会科学としての医学の側面についても触れ、生活の質 (QOL) を豊かにする保健・医療・福祉・心理のあり方についても学び、福祉専門職者・心理専門職者として要求される最低限の医療、医学の知識の習得を目標とする。さらに、最新の健康情報の検証も行う。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害の概要について、人の成長・発達・老化や日常生活との関係を踏まえて理解する。 ●生活習慣病とその予防について、健康増進の正しい方策について理解する。 ●国際生活機能分類 (ICF) の基本的考え方と概要について理解する。 ●リハビリテーションの概要について理解する。 		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人のライフステージにおける心身の変化と健康課題について理解する。 2. 健康・疾病の捉え方について理解する。 3. 人の身体構造と心身機能について理解する。 4. 疾病や障害の成り立ちおよび回復過程について理解する。 5. 公衆衛生の観点から、人々の健康に影響を及ぼす要因や健康課題を解決するための対策を理解する。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教科書第6章で扱った疾患の中から、自身が関心を持ったものを1つ選択。疾患の概要と選択理由を1200字以内まとめ、提出すること (レポート)。 2. メディア (新聞・テレビ・Web記事等) で報じられた疾患事例を1つ選択。福祉、養護、保健、保育、心理などの各視点から、どのような支援が可能であるか検討し、発表を行う (発表)。 		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新・社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 1 医学概論』中央法規		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心身の機能と身体構造を自分の体と日常生活に照らし合わせてできるようになったか。 2. 生活習慣病の理解と予防を考察できるようになったか。 3. 少子高齢社会におけるリハビリテーションを理解し、必要性を説明できるようになったか。 4. 厚労省が推進する高齢者のQOLの基本的な考えを理解できるようになったか。 <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、日常の受講態度や学習状況、レポート、期末テスト等を総合して評価する。授業への参加度30%、レポート30%、期末テスト20%、発表能力20%]</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>「人体の構造と機能及び疾病」は、福祉を学ぶ皆さんにとって、人を理解するための土台となる科目です。福祉の現場では、生活上の困難や社会的課題に向かっていますが、その背景には疾患や身体機能の変化が存在しています。身体のしくみを理解しておくことで、病気や障害が生活に及ぼす影響を捉え、より適切に寄り添った支援を行うことが可能となります。本科目では、単なる知識の暗記を目的とするのではなく、「なぜこの症状が起こるのか」「この疾患は生活にどのような影響を及ぼすのか」を主体的に考える姿勢を重視します。ここで学ぶ医学的知識は、将来、皆さんが支援を組み立てるための重要な基盤となるものです。基礎を丁寧に積み重ねることが、専門職としての力につながります。ともに学を深めていきましょう。(なお、進行状況等により、講義内容の順序が変更とある場合があります)</p>		
13. オフィスアワー	初回授業で通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 人のライフステージにおける心身の変化と健康課題 ・ ライフステージにおける心身の特徴 ・ ライフステージ別の健康問題	事前学習	シラバスを熟読のうえ pp. 2~20 を読んでくる。
		事後学習	ライフステージにおける心身の特徴および健康問題について復習する。
第2回	健康および疾患の捉え方 ・ 健康と疾病の概念および国際生活機能分類 (ICF)	事前学習	教科書 pp.22~30 を読んでくる。
		事後学習	疾病の概念、国際生活機能分類 (ICF) について復習する。
第3回	身体構造と心身機能 ・ 身体の構成部位の名称 ・ 各臓器の構造と役割	事前学習	教科書 pp.32~56 を読んでくる。
		事後学習	身体の構成部位の名称および各臓器の役割について復習する。
第4回	疾病と障害の成り立ちおよび回復過程 ・ 疾病の発生原因と成立機序	事前学習	教科書 pp.58~68 を読んでくる。
		事後学習	疾病の発生原因と成立機序について復習する。
第5回	疾病と障害およびその予防・治療・リハビリテーション ・ 感染症 (インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、エイズ、ノロウイルス、ウイルス性肝炎等)	事前学習	教科書 pp.92~100 を読んでくる。
		事後学習	感染症 (インフルエンザ、新型コロナウイルス、エイズ等) について復習する。
第6回	疾病と障害およびその予防・治療・リハビリテーション	事前学習	教科書 pp.101~114、190~195 を読んでくる。

	・神経疾患、認知症、高次脳機能障害、精神疾患	事後学習	神経疾患、認知症、高次脳機能障害、精神疾患について復習する。
第7回	疾病と障害およびその予防・治療・リハビリテーション ・心疾患、内分泌・代謝疾患、呼吸器疾患	事前学習	教科書 pp.115～137 を読んでくる。
		事後学習	心疾患、内分泌・代謝疾患、呼吸器疾患について復習する。
第8回	疾病と障害およびその予防・治療・リハビリテーション ・腎・泌尿器疾患、消化器疾患、口腔疾患	事前学習	教科書 pp.138～150、177～182 を読んでくる。
		事後学習	腎・泌尿器疾患、消化器疾患、口腔疾患について復習する。
第9回	疾病と障害およびその予防・治療・リハビリテーション ・血液・免疫・アレルギー疾患、婦人科・産科	事前学習	教科書 pp.157～162、184～189 を読んでくる。
		事後学習	血液・免疫・アレルギー疾患、婦人科・産科について復習する。
第10回	疾病と障害およびその予防・治療・リハビリテーション ・骨・関節の疾患、悪性腫瘍と緩和ケア	事前学習	教科書 pp.151～156、213～218 を読んでくる。
		事後学習	骨・関節の疾患、悪性腫瘍と緩和ケアについて復習する。
第11回	疾病と障害およびその予防・治療・リハビリテーション ・小児科疾患、肢体不自由、知的障害、高齢者に多い疾患	事前学習	教科書 pp.196～208 を読んでくる。
		事後学習	小児科疾患、肢体不自由、知的障害、高齢者に多い疾患について復習する。
第12回	疾病と障害およびその予防・治療・リハビリテーション 課題研究の発表会	事前学習	今まで学習したことを振り返り、1つの疾患について発表できるように準備しておく。
		事後学習	発表した疾患について、予防、疾患の観点から考察する。
第13回	リハビリテーションの概要と範囲 ・リハビリテーションの定義・目的・対象・方法	事前学習	教科書 pp.70～89 を読んでくる。
		事後学習	リハビリテーションの定義・目的・対象・方法について復習する。
第14回	公衆衛生 ・公衆衛生の概要および健康増進・保険医療対策	事前学習	教科書 pp.220～231 を読んでくる。
		事後学習	公衆衛生の概要および健康増進・保険医療対策について復習する。
第15回	総合まとめ	事前学習	これまで学習したことを振り返り、期末試験へ用の予備問題を作成する。
		事後学習	期末試験の予備問題を解く。
期末試験			